

## 企業との連携から鑑賞教育の広がり求めて

### —ルーヴル - DNP ミュージアムラボとの連携実践報告—

江東区立深川第四中学校	高崎 美也子
足立区立青井中学校	三浦 悦子
足立区立第十四中学校	坂東 由香里
足立区立第一中学校	平岡 紀子

## I. 実践の目標

思春期における子どもたちにとって、多様なよさを感じとり価値観を広げていくことは、自分を見つめなおす機会にもつながる大切な体験である。鑑賞教育では、これらを体感的に行っていくことが可能である。「よく見つめる」という活動から新たな発見が生まれ、仲間の声に耳を傾けながら「深く感じ取る」経験を重ねていくことで感性は豊かに育まれていく。

本実践は、美術館や企業のもつ専門性を生かしながら、我が国や諸外国の作品とふれあう有効な方法を研究していくものである。新しい鑑賞のアイテムの一つとして、タブレット型端末を活用し、手元で操作できるIT機器をつかった鑑賞授業の方法を考案した。機器の操作そのものに関心が傾かないように、感じ取る力や思考する力を豊かに育むことを指導目標として、学習内容を絞りながら進めていく。本物を見ることとはまた違った視点で何ができるかを探り、教室での鑑賞教育のこれからの方向性を探ることが今回の目的である。

## II. これまでの経緯

### 1. 連携の研究実践

東京都中学校美術教育研修会（以下、都中美と記す）教科研究部では、平成20年より他機関との連携という「方法論」と共に、いかに「鑑賞教育を充実するか」を研究してきた。

○平成20年度…国立西洋美術館の作品で武蔵野三中、墨田二中、高井戸中生徒でギャラリートーク。

日本広告写真家協会（APA）：カメラを授業に取り入れ、作品を一枚の写真に収める。

○平成21年度…東京都現代美術館：スクールプログラムについて研修。

都中美・東京国立近代美術館・国立西洋美術館、共同研修。

国立西洋美術館でのギャラリートーク。

○平成22年度…都中美・東京国立近代美術館・国立西洋美術館、共同研修。

東京国立近代美術館にてVTS（ヴィジュアル・シンキング・ストラテジー）対話型鑑賞とワールドカフェを活用した授業プログラムの作成。

○平成23年度…都中美・東京国立近代美術館・国立西洋美術館、共同研修。

足立区立青井中学校でアートカードを活用した授業研究。（3年生対象）

国立西洋美術館において実際の作品を見て研究協議。

○平成24年度…東京都美術館リニューアルオープン記念「マウリッツハイス美術館展 オランダ・フランドル絵画の至宝」鑑賞。学芸員の方より東京都美術館の変遷と今

展示会のみどころを受講後、展示会の作品を活用した鑑賞プログラムをグループワークで考案。

## 2. 成果と課題

【成果】・企画段階でのスタッフ・学芸員の方たちとのミーティングから、互いの専門性を生かす関わり方について、実際の交流を通して研修を深めることができた。

- ・美術館との連携を図った授業プログラムを実践していくなかで、生徒が「よく見る」活動が活性化し、作品を「深く見つめる」という活動へ発展していった。
- ・鑑賞活動を通して、友だちの感じ方に耳を傾けること、互いの感じ方を尊重する態度を養うことができた。

【課題】・実際に美術館での本物の絵画を目の前にして行う鑑賞活動の成果は大きいですが、現実問題としては立地条件や時間的な制約から難しい。美術館との物理的距離や日程の問題など、学校内外の問題を乗り越えて企画する必要がある、実践している学校は少数である。多くは美術部の生徒が部活動単位で行く範囲に止まっている。すべての生徒に作品との出会いを体験させる方法や内容の検討が必要である。

- ・電子黒板を活用した VTS の鑑賞授業など IT 機材の活用により視覚的に迫ることができるが、一つの教室で「よく見る」活動を行うためには、工夫が必要である。

## 3. 課題からの展望

これまでの研修では「本物を見ること」を軸に行ってきた。今回は、DNP（大日本印刷）のプロジェクト「ルーヴル - DNP ミュージアムラボ」との連携を図りながら、すべての生徒が手元でタブレット型端末の操作を行いながら、気付きやよく見つめる行為を深めていくことを軸に行っていく。そのために企業からの機材の提供と人材の提供を有効に活用していく。

## Ⅲ. 企業（ルーヴル - DNP ミュージアムラボ）との連携実践について

### 1. ルーヴル - DNP ミュージアムラボとは…

ルーヴル美術館と大日本印刷（DNP）による美術鑑賞のための共同プロジェクト。ルーヴル美術館の教育普及のノウハウと DNP の情報・映像技術を背景に、人々が美術館や美術作品とより豊かな関係を築くための情報提供の方法や仕組みを研究・開発し、広く一般に公開している。

（所在地：品川区西五反田 3 丁目 5 番 2 0 号 DNP 五反田ビル 1 F）

ルーヴル美術館所有の作品をタブレット型端末のなかに資料画像として取り込み、それらを活用した授業プログラムを考案中。今回の研究で活用した作品は、ルーヴル美術館側から依頼された作品群の中から抽出して行った。「見かたが変わる」体験を追究している。

### 2. 展開までの連携の流れ

平成 25 年 4 月 14 日（日）・ルーヴル DNP - ミュージアムラボの鑑賞を体験。

5 月 28 日（火）・DNP 五反田ビルにて鑑賞プログラムの内容の検討。日程の決定。

6 月 4 日（火）・実践 1-①のための打ち合わせ。タブレットに入力する作品の選定。

テーマは空間把握：西洋 4 枚。日本 4 枚の作品が選ばれる。  
この 8 枚で今回のすべての展開を行うことになる。

6 月 21 日（金）・実践 1-②の実践のための打ち合わせ。

6 月 25 日（火）・青井中にて出前授業の打ち合わせ。

6 月 29 日（土）◇実践 1-①江東区立深川第四中学校美術部

ルーヴル DNP - ミュージアムラボ体験とワークショップ

7月 5日 (金) ◇ 実践2 足立区立青井中学校 2年1組、2組

タブレット端末を活用した鑑賞授業

7月 6日 (土) ◇ 実践1-②足立区立第十四中学校美術部

ルーヴル DNP - ミュージアムラボ体験とワークショップ

7月29日 (月) ◇ 実践1-③足立区立第一中学校美術部

ルーヴル DNP - ミュージアムラボ体験とワークショップ

### 3. タブレット端末入力作品 [空間表現編]

<p>ルーブル美術館①</p>  <p>ヤン・ファン・エイク 『宰相ロランの聖母』 (1435年頃)</p>	<p>ルーブル美術館 2</p>  <p>ピーテル・デ・ホーホ 『オランダの家の奥部屋で野菜の下ごしらえをする女性』 (17世紀)</p>
<p>ルーブル美術館③</p>  <p>ヨアヒム・パティニール『砂漠の聖ヒエロニムス』 (1515年頃)</p>	<p>ルーブル美術館④</p>  <p>ウィリアム・ターナー 『遠方に河と湾のある風景』 (18世紀)</p>
<p>東京国立博物館①</p>  <p>久隅守景 納涼図屏風 (江戸時代・17世紀)</p>	<p>東京国立博物館②</p>  <p>長谷川等伯筆 松林図屏風 (安土桃山時代・16世紀)</p>

東京国立博物館③



住吉如慶/絵 伊勢物語絵巻 巻第六  
(江戸時代・17世紀)

東京国立博物館④



歌川広重  
名所江戸百景  
深川洲崎十萬茅坪  
(江戸時代)

4. 実践報告

実践1. **DNP 五反田ビル内ミュージアムにおける鑑賞及びワークショップ** (2時間展開)  
※3校の美術部生徒が、異なる日程で体験した。

活動1 **ループル - DNP ミュージアムラボ第10回展**  
『古代ギリシャの名作をめぐって一人 神々 英雄』を鑑賞。 (1時間)

展示スペースにある独自の観点と技術で開発された**マルチメディアコンテンツ**を使って楽しく鑑賞を行う。全身でメディアを操作したり、音楽と動画が融合された解説を味わったり、多様な切り口からループル美術館の作品を鑑賞することができた。

☆DNP スタッフからの解説を聞きながらの鑑賞は生徒の関心を高めた。

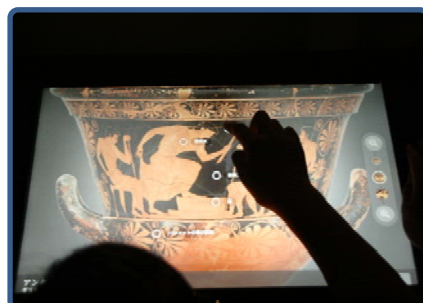


壺？花瓶？杯？

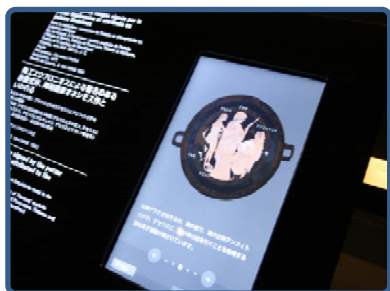
「クラテル」っていうのか。  
ワインを水で割って飲む時に使ったんだ



古代ギリシャの本物、一つ一つの  
絵の意味がわかる。楽しいね。



動く映像と音声で当時の宴会の様子が再  
現されている。あっ、クラテンだ



おみやげフォト  
古代ギリシャの平原で  
ハイ、ポーズ！


活動2 イベントホールにて、顧問教師によるワークショップ (1時間)


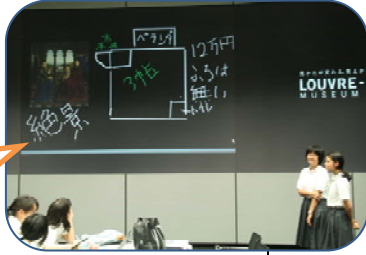
※2～3人のグループワーク：各グループが1台のタブレット端末を使用して行う。

- ① 江東区立深川第四中学校 美術部 22名 指導者：高崎 美也子、木寺 菜穂子  
 <実施日：平成25年6月29日(土)>

『深川不動産広告会社：絵の世界をセールスしよう』

【展開の流れ】

時配	教師のなげかけ	生徒の活動	指導上の留意点
10分	「DNPのタブレットを配布します。2人一組、もしくは3人一組のグループになってください」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを手にする。</li> <li>・2～3人の8グループになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢集団だが落ち着いた空気で活動できるように促していく。</li> </ul>
	<p>「このタブレットにはルーヴル美術館と東京国立博物館の所蔵作品の画像が収められています。」</p> <p>「機能を確かめてみよう。」</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明を聞きながら手元のタブレットを動かしてみる。</li> <li>○ダブルタッチで一枚を選べる</li> <li>○虫眼鏡マーク…拡大して見る</li> <li>○虫ピンマーク…チェック機能</li> <li>○ペンマーク…指で文字が書ける</li> <li>○消しゴムマーク…線が消える</li> <li>○▽マーク…もとにもどせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導により、操作理解を支援する。理解したらすぐに戻すことを意識させる。</li> </ul>
<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;">                 ☆大スクリーンには、教師の解説に合わせてDNPスタッフが操作してくれる画像が写し出される。             </div>			
15分	<p>「タブレットに入っている8種類の絵のなかで何がおきているのか、絵の中の人は何を話しているのか、じっくり見してみよう。」</p> <p>「8枚の絵をグループ分けしてみよう。」</p> <p>①日本のものは左側へ 西洋のものは右側へ</p> <p>②家の中の様子は左側へ 家の外の様子は右側へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで1台のタブレットを活用し、絵を見ていく。</li> <li>・指示に従って、作品をスライドさせていく。</li> <li>・なぜ、そう思ったのかを発表していく。</li> <li>・家の中と外、あやしいものについて考えを発表する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                 ルーペを使うと細かい部分までわかるね             </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が参加できるように配慮し、声掛けを行う。</li> <li>・日本独特の描き方についての気づきをおさえる。</li> </ul>


	<p>「あやしかったものはないどこがあやしかった？」</p> <p>「西洋と日本の絵の違いは、どこが決めてでしたか。」</p> <p>「この絵に懐かしさはない？これはみんなの地元の絵ですよ。」</p> <p>「この絵は鳥が飛んだ視点なんです。扇橋に会えてよかったね。」</p>	<p>⇒「テント？」「ピクニック？」</p> <p>⇒「天井がない。空間がおかしい。」</p> <p>⇒「服が違う」</p> <p>⇒「日本は色がはっきりしない」</p> <p>⇒「日本は表現がリアルじゃない」</p> 	<p>・歌川広重作 「名所江戸百景」</p> <p>は生徒の育った地域の作品なのでとりあげ、昔の故郷の風景を味わう。</p>
20分	<p>「みなさんは不動産会社です。担当の物件を売ってもらいます。セールス広告を作成しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師作成の参考作品を提示する。</li> <li>・必要な操作説明をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当物件の決定</li> </ul> <p>8枚をそれぞれ1グループが担当する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを活用して広告を作成する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 立地条件</li> <li>2 間取り</li> <li>3 家賃</li> <li>4 セールスポイント</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで相談しながら進めていくようにする。</li> <li>・何がセールスポイントかを考えることで作品を深く見ながら思考する活動へと結びつけていく</li> <li>・完成後は必ず保存をする。(☆保存したものを親機でスタッフが操作できる)</li> </ul>
10分	<p>「では、できたグループから発表してもらいます。」</p> <p>☆大スクリーンには、グループごとの作品が映し出される。DNPスタッフが内容に合わせて操作をしてくれる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに前に出て発表をする。</li> </ul> 	
	「質問はありませんか」	<p>「トイレはどこですか？」</p> <p>「どこの地方ですか？」</p> <p>「この絵はいつですか？」</p>	
5分	<p>「今日は作品を深く見たのではないのでしょうか。面白い発見がありましたね。これからにつなげましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに学習のまとめ、感想を書く。</li> <li>・参観者・保護者からの感想を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の成果を評価し、今後の「見る活動」へとつなげていく。</li> </ul>




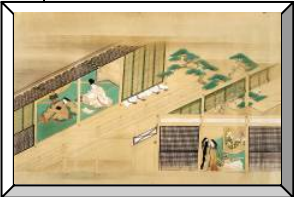


② 足立区立第十四中学校 美術部 17名 指導者：坂東 由香里

<実施日：平成25年7月6日（土）>

『絵の世界を旅しよう TVディレクター&レポーターは君だ!』

【展開の流れ】

時配	学習活動	指導上の留意点	評価
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに着席</li> <li>タブレットの説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使う機能のみを知らせ進めていく。</li> </ul>	(関)
5分	<p>「このタブレットにはルーヴル美術館と東京国立博物館の所蔵作品の画像が合計8枚収められています。」</p> <p>「分けるとしたらどんなふうに分けられるでしょうか。理由も考えてください。5分後に発表をしてもらいます。」</p> <p>○タブレットのスライドの機能を活用しながら作品をグループに分けていく。</p>		(鑑)
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに発表</li> </ul> <p>⇒人がいる、いない。</p> <p>⇒色の違い。</p> <p>あざやか、地味。濃い、薄い。</p> <p>⇒西洋と日本</p>		(鑑)
	<p>どの部分に違いを感じた？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>輪郭線を濃く描くのが日本。輪郭がないのが西洋。</li> <li>奥行きがないのが日本。奥行きがあるのが西洋。</li> <li>色の使い方が淡いのが日本。</li> <li>影をつけずに平面的なのが日本。リアルな空間が西洋。</li> <li>ターナーは風景としての日本を感じないから西洋。</li> <li>日本の作品は松や景色などの約束事があり、必ずそ</li> </ol>		
5分	<p>「これら8枚の作品の中から一作品ずつ各グループに担当してもらい、発表してもらいます。お題は「旅」です。皆さんはTVディレクターとレポーターになったつもりでそれぞれの絵について楽しく紹介してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵の抽選…6グループが担当の一枚を決める。</li> </ul>		(関)
15分	<p>「では、班で相談しながら進めましょう。」</p> <p>「番組のタイトルもつけましょう。」</p> <p>○タブレットの絵を見ながらワークシートを活用して行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット機能の「ダブルタッチ」と「ルーペ」を生かして行う。</li> </ul>	(構)
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表</li> </ul> <p>○番組タイトルを発表し、ナレーターがルポ。絵画中の登場人物などの会話も乗せていく。</p>		(関)

	<p>1. 番組タイトル『チャーチに突撃』  ナ：「今日は教会へやってきました。」  神父：「私は赤ちゃんが健康に育つように祝福しよう。」  母：「ありがとうございます。」  ナ：「赤ちゃんのかわいさに天使も降りてきました。」</p> <p>2. 番組タイトル『田舎へいきましょう』  ナ：「ここは霧が深いですね。遠くに地平線も見え、  山も谷底も見えます。ここはどこでしょう。」  村人1：「ここは温泉です。」  村人2：「温泉に入って疲れが取れました。」  ナ：「みんなできて温泉につかりたいものですね。」</p> <p>3. 番組タイトル『空から見てみよう』  ナ1：「空からどこかの国を見てみよう。今日はこの親子  の家です。貧しいのでしょうか。瓶を持って水をもらい  にきたようです。」  ナ2：「階段があるので2階屋ですね。  母は布、子どもは長い棒のようなものを持っています」</p> <p>4. 番組タイトル『クローズアップ 平安の時間』  ナ：「ここは貴族のお屋敷です。女の人があります。  何をしているのでしょうか。」  女1：「ねね、私また新しい着物買っちゃった！」  女2：「あら、すてきね。」  ナ：「上の部屋に男の人があります。手紙を持っています。  ラブレターでしょうか。」</p> <p>5. 番組タイトル『突撃！世界辺境の旅』  ナ：「飛行機の墜落現場を旅しています。  旅人にインタビューしてみましよう。大丈夫ですか。」  旅人1：「もう、三日も何も食べていないよ。」  商人：「俺は食べ物売りに行くんだよ。  向こうに大きな教会があるだろう。」  ナ：「道を歩いている旅人も見えます。」  旅人2：「宿屋が見つからない。あそこの小屋にいる老人が  俺を拒否したのさ。」  ナ：「おじいさん、何をしていますのですか？」  老人：「神に石のお供えをして祈っているのだよ。」</p> <p>6. 番組タイトル『冬の冒険』  ナ1：「誰かいるかな？誰もいない。謎の桶がある。」  ナ2：「鷹がいる。大きい。遠くに山が見える。」  ナ1：「鷹がこっちへ来たぞ。食べられちゃう、逃げろ！」</p>	     	(鑑)
10分	「発表を聞いてどう思いましたか？ プリントに感想をまとめましょう。」		(関)



※①深川区立第四中学校での成果・反省から、②足立区立第十四中の実践では、タブレット機能の活用説明は最小限にしばり、じっくり見つめ気づくことにポイントをしばって行った。その成果を踏まえ、「もっと作業をさせてほしい」、「気づいたことを生かす働きをさせてほしい」という体験者の生徒の声を受け、実践③を行う。

③ 足立区立第一中学校 美術部 19名 指導者：平岡 紀子  
 <実施日：平成25年7月29日（月）>  
 『時空旅行社 この季節、一押しの旅はこちらです』

【展開の流れ】

時配	学習活動	指導上の留意点
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに着席</li> <li>・タブレットの説明</li> </ul> <p>「このタブレットにはルーヴル美術館と東京国立博物館の所蔵作品の画像が収められています。色々な操作をしながら見ていくことができますよ。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スライドで作品移動ができる。</li> <li>○ダブルタッチで一枚が大きく見られる。</li> <li>○虫眼鏡マーク…拡大して見られる</li> <li>○画面に2枚の作品を選ぶことができる</li> <li>○ペンマーク…指で文字が書ける</li> <li>○消しゴムマーク…線が消せる</li> <li>○▽マーク…もとにもどせる</li> <li>○<b>SAVE</b>…画面を保存し、次に進むことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を見つめながらタブレットの操作を知るようにする。</li> <li>・<u>ルーペ機能</u>で拡大してじっくりと見られること、<u>2枚の絵を選択</u>した時には指の操作で自由に拡大できることの2点は押さえ、次の活動に活かせるようにする。</li> </ul>
7分	<p>「8枚を二つに分けるとしたらどんなふうに分けられるでしょうか。いろいろな分け方が考えられるかもしれません。5分間で何通りか考えてみましょう。後で発表をしてもらいます。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>〔ヒントカードの配布〕          明るい・暗い、田舎・町、止まっている・動いている、自然、人工物、想像・現実、美、神秘 等のキーワード</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレットのスライドの機能を活用しながら作品をグループに分けていく。</li> <li>○ヒントカードから視点を広げ、様々な見方、分け方を考えてみる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの会話を大切に行う。</li> <li>・決定した内容は保存し、いくつかの分け方があれば、何通りにも分けていく</li> </ul>
8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループからの発表（1グループ抽出）</li> </ul> <p>⇒外国と日本、西と東          ⇒一色の系統か、たくさんの色を使っているか          ⇒人がいる、いない          ⇒立体的な表し方、平面的な表し方          ⇒屋内、屋外 ⇒最近か昔か          ⇒自然にあふれているか、そうでないか</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>発表グループはターナーの作品を「人がいない」に分類したが、他のグループはルーペで人の存在を発見した</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表グループの発表に対して質疑を行い、共感できる点や考え方の違いを確かめていく。全グループが参加できるように進め、感じ方を深めていく。</li> </ul>

5分	<p>「絵の世界に入り込むとさまざまな国や時代を旅することができますね。もっとこの8枚に深く入りたいので、旅のプランを他のグループのみんなにセールスしてください。」</p> <p>「この一枚一枚は時空旅行者が広告用に用意した一押しの旅のワンシーンだとします。」</p> <p>さて、ツアーコンダクターのみなさんは、どんなところに連れて行ってくれるのでしょうか。」</p> <p>「今回は、時空を飛び越え、2か所をツアーで回ることができます。ただし、旅にはテーマが必要ですね。ツアーのキャッチフレーズを考え、ステキな旅を企画してください。企画会議、広告制作の時間は15分です。そのあとすべてのチームにプレゼンをしてもらいます。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを補足的に活用することをすすめる。</li> </ul>
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セールスポイントにそって想像してみる <ul style="list-style-type: none"> <li>◇時代 ◇国 ◇季節</li> <li>◇どんな人(物)と出会える</li> <li>◇どんな体験ができる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレットの絵を見ながらワークシートを活用してプランを考える。</li> </ul> </li> <li>・旅をする2か所(2枚の絵)を選択する <ul style="list-style-type: none"> <li>○二つの作品選択機能を活用する</li> </ul> </li> <li>・タブレットにキャッチフレーズをのせ、ツアー広告をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○線の書き込み機能を活用して文字を書く</li> </ul> </li> </ul> <div data-bbox="391 1301 970 1630" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">『 (時空ツアーのキャッチフレーズ) 』</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 150px; height: 100px; text-align: center;">作品 A</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 150px; height: 100px; text-align: center;">作品 B</div> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット機能のルーペを活用し、よく見つめるようにする。</li> <li>・旅のテーマに対する絵の共通点を考える。</li> <li>・文字は、なるべく絵にのせないようにする。</li> </ul>
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅のセールスタイム <ul style="list-style-type: none"> <li>○発表を聞くギャラーは、旅行会社に来た客となり、納得のいく旅のために質問をする。</li> </ul> </li> </ul> <p>1、『自然 For You ～春のロシア(200年)に 秋の中国(紀元前5年)に』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残る最高の自然をあなたに 永遠の平和を満喫、ツアー日程は飽きるまで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話式の中で深く見つめる行為につなげていく。</li> </ul>



	<p>②、『あなたを癒す神秘の3日間 ～イギリスと日本二つの島国を～』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 17世紀後半～18世紀の荘厳な雰囲気へ人と離れて自然に溶け込んで癒される旅、1日目はイギリス、2日目は日本、3日目は好きな方の国を選んで行ける</li> </ul> <p>③、『2千年前の世界大自然のなかへ おじさんに火おこしを覚えてもらおう』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2000年前の夏のブラジルと冬の日本でサバイバル。成功者には賞金。鷹にも狙われサバイバル気分。</li> </ul> <p>④、『フランスで高貴な暮らしが体験できます 窓から素敵なオーシャンビュー』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数十年前のフランスで高貴な暮らしを体験。あなたのために素敵な衣装と神父様のありがたいお話を</li> </ul> <p>⑤、『あなたと行く夢の江戸の旅 ～女子会もあるよ～お値段は1250円』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3日間めんどくさい日常を忘れて江戸を楽しみませんか？夜は女子会。江戸の美女と語りあい。</li> </ul> <p>⑥、『世界のSEA、二つの国の海をENJOY』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1コインで行ける2泊3日500円の旅。</li> <li>・ 涼しい江戸の海をながめたり、ヨーロッパの海を思いっきり泳げるツアー</li> </ul> <p>⑦、『30日間サバイバル精神を鍛えるツアー』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 極寒の江戸の海と果てしない大自然の日々。</li> <li>・ 30日間のサバイバル食つき、鷹もあなたを狙っている</li> </ul> <p>⑧、『江戸・平安にタイムスリップ！ 一昔の日本の春と冬を体験』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬は山のふもとを暖かいタカの背中にのって眺める（空からいい眺め！）</li> <li>・ 春は貴族の暮らしを逆さで体験。（不思議な感覚でやみつき！）</li> <li>・ タカが家まで送迎してくれます。</li> </ul>	 <p>☆窓からオーシャンビュー</p> <p>トリミング</p> <p>線を活用</p> <p>画像を動かして</p> <p>上下逆転</p>
5分	<p>「今日の鑑賞はどうでしたか？ 感じたことをプリントにまとめましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西洋の絵画と日本の絵画の空間に入り込めたことを評価する。</li> </ul>

〔実践1 ①②③を終えての生徒の声〕

- ・「こんな美術館に来たことがなかったのでとても楽しかった。ルーヴルのすばらしい作品と出会えたり、ワークショップも初めてだったけれど楽しくできたのでよかった。」
- ・「今までにやったことのないような見方がたくさんできて面白かった。」
- ・「絵をいろいろな視点から見ることでさまざまな発想が生まれたのでいい経験だった。」
- ・「テーマがでるたびに、たくさんの絵の特徴を発見できてよかった。」
- ・「タブレットなど、最新の技術が取り入れられているのがすごいと思った。」
- ・「こんなに「触れる」ことができたり、「体験する」ことができたりしたのは初めてだった。」
- ・「短い時間で広告をつくることができたし、タブレットの使い方ってできたのでよかった。」
- ・「みんなで意見を出し合ってプランをつくっていくと新しい考えも生まれて楽しかった。」
- ・「タブレットの中の絵をじっくり見ていくと新しい発見があって面白かった。」
- ・「遠くから見たら気づかないこともルーペで拡大するとよく見えてよかった。」
- ・「絵をななめにしたり、少しでも見た人の心に届くようなものが仕上げられてよかった。」
- ・「みんなで質問をしたり意見を出し合ったりすることで、作品の見方が変わっていくのが面白かった。」

DNP・ミュージアムラボの鑑賞体験を終えて

とても楽しかった!

物を動かしたり、タブレットを使ったりして興味をひき

様々な視点からその作品をみたり、気づきがあったりして楽しかった

小さなちうくなどでもタブレットでこまかく大きく

見ることができてその理解が深まったように思える。

今回の授業もまったく共通点のないものが

実は様々な共通点があって、その時の時代背景と

ていじあせるともって木葉らなものが見えてくるかと思う

旅にすることでもってその糸のみにくく気づけて

よかった。

絵がどんなものかのことにはさすじいと思つた。

神話を目で見ることもできるかと思う。

当時の文イビ(ワキとわい割りなど)を知ることができたと思つた。

さまざまな絵、又、1枚の絵に向き合つて、時代や背景を想像し、考えることができて、絵の見かたが変わり、深く考えさせられる感じがした。

いろいろな考えがよけてよかった。

実践2. ルーヴル - DNP ミュージアムラボによる中学校での出張授業

足立区立青井中学校 授業者：三浦 悦子

〈実施日：平成25年7月5日（金）5校時 2-1 33名

6校時 2-2 34名

- 1 題材名 「絵画に入って現場中継しよう」  
～西洋と日本の空間認識の差異をどう理解させるか～

2 今回の授業の教育計画での位置付け

タブレットを使った今回の授業は、表現との関連を考慮し、「身の回りの風景」および「不思議な空間」という次の制作課題の導入として扱った。

絵画表現において、「見たままに描きたい」という願望は中等教育後期の生徒ならば誰しももつものである。『方法論』＝『遠近法、描画技術』の理解だけでは、第2学年の指導内容として不十分であり、今回の授業は「描きたい」という願望を「描ける」に導く方法の一つとして考えた。

次の授業で「遠近法」の知識を扱うために、今回の授業で、空間の表現方法の多様さに気付かせたい。

3 学習のねらい

学習指導要領 2・3年 B鑑賞 (1)ウ

(1) 美術作品などのよさや美しさを感じとり味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を指導する。

ウ：日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりする

- ・日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情深める
- ・諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付く
- ・それぞれのよさや美しさなどを味わう

このことによって

美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高める

4 指導の流れ 1時間＝50分（本時）

1・DNPの方から「ルーヴル - DNP ミュージアムラボ」についての説明

2・機材の使い方の説明

【虫眼鏡機能】【保存方法】【囲み】…描線の描き方、描線の太さ、色の設定変えは教えない

3・西洋の絵か日本の絵か分ける：絵の移動の方法を実践→2, 3班発表→各班の理由を聞く

4・「室内」の絵か「外」の絵か分ける：描かれていることの把握→2, 3班発表→各班の理由を聞く

5・現場中継の説明（例を出す）

6・班ごとに割り当てられた絵画の「現場中継」原稿を考える：ワークシート「報道原稿」記入

絵の中に何が描かれているか  
自分（いる場所）は絵の中のどこか  
絵の中で何が起きているか（事件を探す）  
報道時のテロップを考える（言語表現）

7・8 作品の每一班が発表：

例えば伊勢物語絵巻など  
の大和絵の吹き抜き屋台  
や多視点の俯瞰図など

8・視点を探そう：「絵の中で描いている人はどこにいるのだろう？」

9・「この絵、なんか変?!」などところを探す： →

① 自分の割り当ての絵を見て考える→ワークシート記入→発表

② 他班の意見から気付く→ワークシート記入→自分たちの意見と比較する

10・まとめ：「宰相ロランの聖母」「野菜の下ごしらえをする女性」の消失点を示す：次回への期待

## 5 評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・教材に興味をもち積極的に教材を使っていたか ・示された課題に協力して取り組んでいたか	・描かれているものから現場中継にふさわしい発想をしたか		・日本の美術や伝統と文化に対する理解を深めたか ・西洋の絵画と日本の絵画の相違と共通性に気づいたか
話し合いや発表の様子	発表・ワークシート		発表・ワークシート



ルーヴル美術館についてのお話をDNPの方から聞く。学んだことや見たことがあるかも。



発表内容に合わせてスタッフの方が画像を映し出してくれる。グループの保存した画像も同様に。



絵画に入って実況中継。



#### IV. 本実践の成果と課題

本実践の連携企業である「ルーヴル - DNP ミュージアムラボ」が、教育普及への事業をスタートさせたのは平成 23 年のことである。その後、東日本大震災の影響で思うように進められない時期もあったそうだが、いくつかの取り組みをここに至るまでに行ってきた。(<http://www.museumlab.jp/active/workshop/projects.html>)

今回の連携では「空間把握」というテーマで実施したいという希望が企業側にあった。「西洋的空間のとらえ方と、日本的空間のとらえ方の認識させたい」という学習目的が設定されるなか、ルーヴル美術館側から作品が選定され、その内容に合わせて国立博物館所蔵の作品も選ばれた。指定して行われる条件での学習活動だったが、相互に有効な内容を協議しながら実施していくことで、生徒にとって貴重な体験をさせることができた。美術の学習の中で「見て感じる」活動は、よさや美しさを味わうために欠かせないものであり、今回のようなクォリティーの高い画像と出会えるプログラムの意義は大きい。

「ルーヴル - DNP ミュージアムラボ」が所有する充実した作品のなかから、国内の所蔵作品とルーヴル美術館の所蔵作品を取り入れながら行うことで、国際的な視点に立って我が国の文化の豊かさを知り、味わう学習にもつながった。また、2~3 人の生徒がタブレット型端末一台を手元で捜査することで、見たい部分をじっくり見る活動ができた。普段は見ることのできない緻密さの観察や鑑賞の共有化などはタブレット機器を活用したからこそその成果である。手元で操作するなかでよさや美しさを味わえ、小集団の意見をその場で共有化することができる。すべての生徒が参加できる生き生きとした活動が展開されることで、授業に取り入れる IT 機器の一つとしてタブレット型端末の有効性を実感することができた。

ここで大切なのは、しっかりとした授業プランをつくって臨むということである。今回、企業が提供してくれたタブレット型端末には、多種多様な機能が組み込まれていた。このような機器の機能を触りながら探っていくことに現代の子ども達は慣れている。生徒は手に取るといつまでも遊んでいくようになるので、授業の目的をはっきりとさせ、テーマから外れないように「約束ごと」の設定をすることが大切になってくる。機器の扱いの際、必要な機能を活用していくように絞ること、発表を聞く時には触らないなどの基本的な授業規律も必要である。

内容の濃い展開ができたのは、画像・タブレットという物理的なサポート以外にこのカリキュラムに精通した企業からの人材提供が大きい。美術館であれ、企業であれ、深い鑑賞授業を展開させていくためには、人的な交流が連携の一步だ。今後スムーズに授業を展開させていくためには人材についても TT 方式などその方法を検討する必要がある。未来を築く子ども達の感性を育みたい思いは企業にも共通していた。連携を生かしそれぞれの条件のなかで何が可能かを積極的に考えながら、生徒にとって有効な鑑賞の方法を追究し続けていくことが重要であると考えられる。